

走行チェックシート

日付	200/09/27 (日)		時間	~	イベント	2009MFJ全日本ロードレースRd5		
天気	晴れ→曇り		マシン	GSX-R1000 K9	ライダー	今野由寛		
コース	名称	岡山国際サーキット			気温	27	°C	
	コンディション	DRY			気圧	986	hpa	
	路面温度	37.6°C (計測時間 )			湿度	45	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40			
	ファイナルレシオ	16 x 45(2.8125)						
トランスミッション	1st	A(36/17)	2.11	4th	A(30/21)	1.42		
	2nd	A(37/20)	1.85	5th	B(28/21)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.63	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-11			
	スプリング	9.75	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	mm		油面	120	mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-9		突き出し	STDトップブリッジで8mm突き戻し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(316.5mm)		TEN	-11			
	スプリング	126	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	mm		リンク	STD			
	イニシャル	11	mm	リンクロッド	144(STD+2mm) mm			
	COMP(HI)	+1回転(MIN+1回転)		車高	STD±6.5mm ピボット±0mm スイング長602mm			
	COMP(LO)	-8						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80R16.5		サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.8			
チェック	順位	11		ベストラップ	1'31.851			
	水温	79 °C		油温	137 °C			
	ガソリン	IN	ℓ		走行距離	km		
		OUT	-		燃費	km/ℓ		

<コメント>

岡山に来ました。  
 千葉からでは全日本の中で2番目に遠いサーキットです。  
 今年も宿はいつものところ。とてもご飯がおいしい宿なんです。でも量がいっぱいなんです。  
 残してしまうのがもったいないので食べ過ぎてしまいます。日ごとに胃が大きくなっているのがわかります。  
 一日の終わりにメインイベントが待っている感じです。  
 岡山とSUGOは似たような感じのサーキットです。距離も同じくらいですし、コーナーの雰囲気も似ています。  
 テストではSUGOの仕様で持ち込み、現地でサーキットに合わせてアジャストします。  
 前日に四輪のスーパー耐久があったとの事で路面のコンディションが良くありません。  
 しかしタイヤのグリップが悪い中、上位陣はそこそこのタイムで走行しています。  
 SUGOではアベレージタイムのまま決勝レースの順位になってしまったので、今回は周りとのアベレージタイムの差を少なくしていく方向に。テストスタートからフロントのバネが思ったよりも硬く、グリップしない事も相まって徐々にレートを下げていきました。  
 SUGOからの問題点である、フロントの高さ、ストロークの奥が使えないという症状は変わらず、前後レート、車体姿勢などで追っていきました。  
 レースウィークに入り、前週に地方選があったこともあり路面が前回のテストよりグリップが良くなるかに思いましたが、わずかに良くなった程度でした。フロントの問題を解決するためパネレート、油面を変化させましたが、大きく改善はされませんでした。  
 予選が始まり、今回もノックアウト方式です。  
 今のタイムだとQ3に残れるか微妙なところ。是非ともQ3に残るためQ1からラップを重ねQ2の終わりにNEWタイヤを投入です。  
 今野君がうまくまとめて1'31.851でQ3へ進出です。  
 しかしQ3ではタイムアップならず、12番手で決勝へ。  
 決勝日も良く晴れて路面温度は40度後半です。もう少し温度が下がってくるといいなーと思いながら決勝がスタート。  
 スタートはまずまずで、一周目。予選とほぼ同じような順位でした。しかし思ったよりタイムが上がりません。  
 しかし3周くらいするといつもラップタイム近くまでできました。  
 結果は大きな波乱も無く淡々と周回して無事11位でチェッカー。  
 あとで序盤のペースについて聞くとどうやらスタート直後に思った以上にフロントタイヤが温まらず、滑ったとの事。  
 その後慎重に走ったら問題なかったとのことで、ペースを戻すまでに時間がかかったみたいです。  
 スタートしての2・3周はレースのポジション取りという意味でとても重要です。  
 そういった意味では残念ですが、レースはあと一秒アベレージタイムをあげないと前の集団で争うことが出来ません。  
 次回茂木はなんとかいいところを見せまますので期待してください。  
 今回も応援ありがとうございました。

レーシングサプライ  
 畑中 健太郎